

第106期 事業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日



トヨカネツ 株式会社

(証券コード：6369)

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第106期の「事業のご報告」をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当期のトーヨーカネツ・グループの業績は、機械・プラント事業が堅調に推移したことに加え、物流システム事業における収益性の改善により、営業利益と経常利益において史上最高益を達成することが出来ました。この業績及び財政状態等を踏まえ、当期の配当金につきましては、従来公表しておりました普通配当4円に特別配当1円を加え、1株当たり5円とさせていただきました。

また長期的な視点での株主還元策として、自己株式の取得にも弾力的に対応する方針であり、本年5月から9月に上限を400万株、10億円として実施することを取締役会で決定しております。

さらに当社グループは、昨年策定した中期経営計画期間(2013~2015年度)における3カ年平均の営業利益目標を23億円から31億円に上方修正致しました。今後とも株主の皆様をはじめステークホルダーの期待に応え、グループ企業価値の最大化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



平成26年6月
代表取締役社長 柳川 徹

決算ハイライト

連結決算

(単位:百万円)

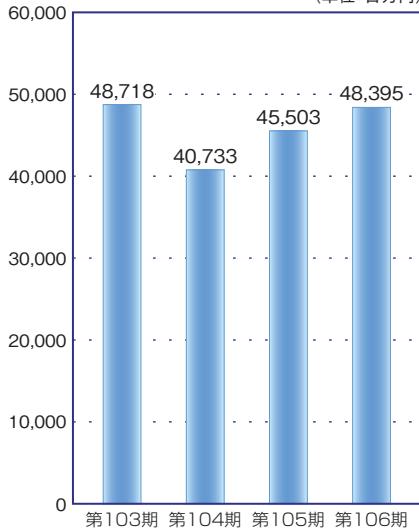
経営成績	第105期	第106期
	(前期)	(当期)
売上高	45,503	48,395
営業利益	2,271	4,341
経常利益	2,745	4,776
当期純利益	1,526	2,879
1株当たり当期純利益(円)	12.53	24.18

(単位:百万円)

財政状態	第105期	第106期
	(前期)	(当期)
純資産額	30,862	33,789
総資産額	58,078	54,515

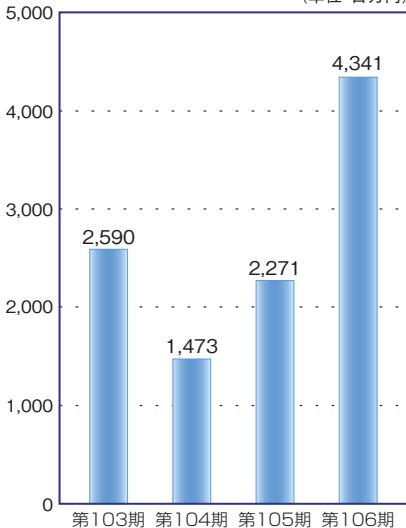
売上高

(単位:百万円)



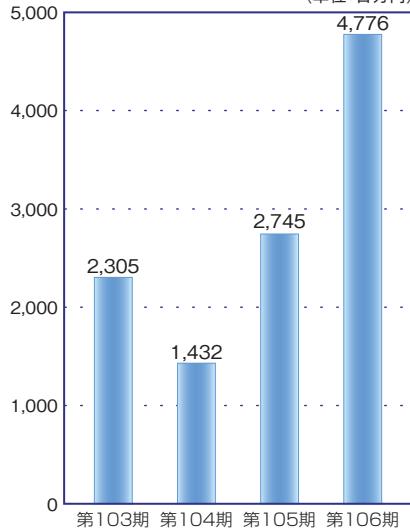
営業利益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



純資産・総資産

(単位:百万円)



■ 純資産 ■ 総資産

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	第105期 平成25年3月31日現在	第106期 平成26年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	37,149	33,841
固定資産	20,929	20,673
有形固定資産	13,654	12,912
無形固定資産	464	393
投資その他の資産	6,809	7,368
資産合計	58,078	54,515

(単位:百万円)

	第105期 平成25年3月31日現在	第106期 平成26年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	23,168	16,724
固定負債	4,047	4,000
負債合計	27,216	20,725
(純資産の部)		
株主資本	29,530	32,105
その他の包括利益累計額	1,174	1,471
少数株主持分	157	212
純資産合計	30,862	33,789
負債純資産合計	58,078	54,515

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	第105期 平成24年4月1日 ~平成25年3月31日	第106期 平成25年4月1日 ~平成26年3月31日
売上高	45,503	48,395
売上総利益	6,214	8,350
販売費及び一般管理費	3,942	4,009
営業利益	2,271	4,341
営業外収益	690	477
営業外費用	216	41
経常利益	2,745	4,776
特別利益	98	142
特別損失	116	427
税金等調整前当期純利益	2,727	4,491
法人税、住民税及び事業税	1,416	1,012
法人税等調整額	△250	572
少数株主損益調整前当期純利益	1,561	2,905
少数株主利益	34	26
当期純利益	1,526	2,879

通期見通し(連結)

(単位:百万円)

	第106期実績 平成25年4月1日 ~平成26年3月31日	第107期見通し 平成26年4月1日 ~平成27年3月31日
連結 売上高	48,395	47,900
営業利益	4,341	2,700
経常利益	4,776	2,970
当期純利益	2,879	1,830



機械・プラント事業

直江津LNG受入基地が完成

「第104期中間事業のご報告」でご紹介した直江津LNG受入基地は、当初予定よりも早い平成25年12月1日について竣工致しました。

工事が順調に進捗し、①工業用水による水張り試験 ②タンク内部の空気を窒素に入れ替え（安全性の確保のため） ③その窒素をメタンガス（天然ガスの主成分）に入れ替え ④タンク内部を液化天然ガス（LNG）で冷却 などの最終工程を経て今回の竣工に至りました。

比較的安価で二酸化炭素の排出量が少ないLNGの需要が世界的に拡大傾向にあるうえ、電力供給におけるLNG火力発電所の役割も大きくなっていきます。年間150万トンの取り扱い能力（約500万世帯の年間消費量）を持つことで、今後は海外で生産されるLNGも受け入れ、パイプラインにより関東圏を中心とした1都7県のカス事業者や企業などに販売されます。



一番右のタンクは現在建設中のLPGタンク

物流システム事業

AR技術を用いた近未来型ロジスティクスソリューション

平成25年9月25日～27日に開催された第15回自動認識総合展において、AR（Augmented Reality：拡張現実）技術を用いた近未来型のロジスティクスソリューションの実証試験を公開しました。ARとは人が知覚する現実環境をコンピュータにより拡張する技術のことで、倉庫や物流センターなどの物流施設において、作業者がヘッドマウントディスプレイを装着してディスプレイ上に表示される案内画面に従いながらピッキングや仕分けなどの作業ができる、ナビゲーションスタイルの明日の物流を見据えた物流ソリューションの試みです。NHK、民放各社でも取り上げられ放送されており、関心が高いものがありました。今後とも、お客様のニーズにマッチした小規模システムから大規模システムまで最適なソリューションを提供してまいります。

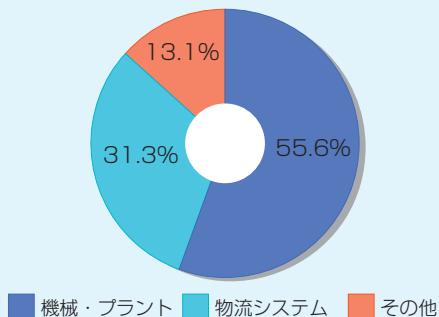


セグメント別営業の概況

当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「機械・プラント事業」「物流システム事業」「建築事業」の3区分から、「機械・プラント事業」「物流システム事業」の2区分に変更しています。



セグメント別売上高構成比



セグメント別営業利益



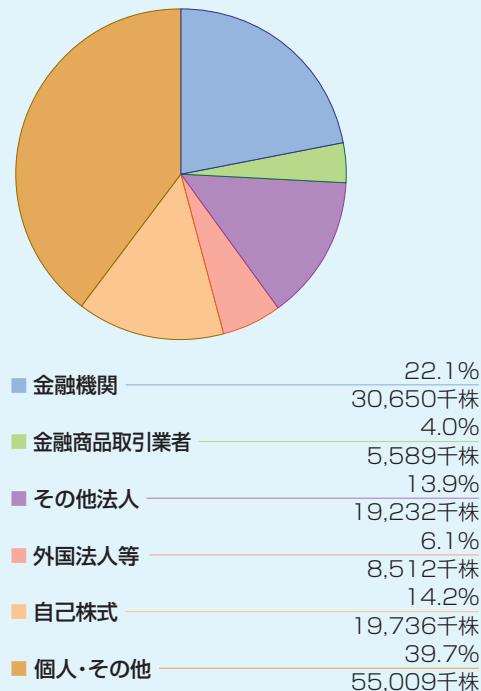
※内部売上高または振替高を消去する前の数値に基づき表示しています。

株式の状況

平成26年3月31日現在

発行可能株式総数 297,000,000 株
 発行済株式総数(自己株式を含む) 138,730,741 株
 株主数 16,738 名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領 株主確定日

期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
公告掲載URL
<http://www.toyokanetsu.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎ致します。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

(ご案内)

少額投資非課税制度口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ左記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がございますのでお気を付けください。

また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことが出来ませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

トヨカネツ 株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂八丁目19番20号
TEL.03(5857)3333(代表) FAX.03(5857)3170



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

